

'09 年度 第1回



参加者募集

共創フロントは 新たな価値を生み出したか

横浜における共創ビジネスの今後を展望する

昨年6月に横浜市が開設した民間向け事業提案窓口「共創フロント」。自治体として公民連携のトップランナーを目指したこのチャレンジは、果たして公共にイノベーションを起こせたのか？民間提案プロジェクトの実例から横浜の「共創ビジネス」の可能性に迫ります。

with
tvk横濱Future Cafe
on
Mon. 2009.8.24

session-1 15:35~16:25

「共創フロントは新たな価値を生み出したか」

コメンテーター **根本祐二** 氏
東洋大大学院公民連携専攻教授

プレゼンテーター **土井一成**
共創推進事業本部

session-2 16:30~17:50

「共創フロントはどのように創られ、何を指すのか」

公民連携事例発表

- ① 地域のNPOを主体として取り組む、楽天市場のEコマースによる地域作業所産品のブランド化
- ② 京浜臨海部活性化を目指す官民対話の過程から生まれた、JFEエンジニアリングによる障害者就労支援の取り組み
- ③ ローソンとの包括提携に基づく直営店舗へのAEDの設置と従業員向けの講習の実施
- ④ 公共へのクリーンモビリティ導入チャレンジ
セグウェイジャパンと共創が出会って起きたこと

パネリスト(予定)

楽天株式会社、NPO法人I Loveつづき、JFEエンジニアリング株式会社、株式会社ローソン、セグウェイジャパン株式会社、横浜市健康福祉局・共創推進事業本部

- 日程 8月24日(月)
15:30~17:50(開場 15:00)
- 会場 tvkカフェ(JR・地下鉄関内駅5分)
- 募集人数 150名(交流会 事前申込70名)
- 参加費 無料(交流会 2,000円)
- 主催 横浜市共創推進事業本部
<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kyoso/>
- 共催 tvk(テレビ神奈川)
横濱フューチャーカフェ
<http://www.newsharbor.tv/futurecafe/index.html>

参加申込方法(先着順)

方法1

横浜市ホームページの電子申請申込みフォームから登録してください。
<https://ds-info.city.yokohama.lg.jp/recept/form.rbz?cd=443>

方法2

①所属企業・団体、役職 ②氏名(フリガナ) ③連絡先
④交流会・懇親会の出欠 をお書きのうえ、E-mail にて直接お申し込みください。
事務局で確認次第折り返し参加決定のE-mailを送付します。

問合せ申込先

横浜市共創推進事業本部共創推進課
共創フォーラム事務局

E-mail: ts-ccfy@city.yokohama.jp

TEL 045-671-4396 / FAX 045-664-350

プログラム

session-1

15:35～16:25

共創フロントは新たな価値を生み出したか

共創フロント開設後、1年間80件余の提案から、事業化へ結びついたプロジェクトや官民の対話に課題を残した事例を分析、公共における共創プロジェクト成功への秘訣と、そこからあぶり出された官民双方の課題と展望を語ります。

コメンテーター 東洋大大学院公民連携専攻 根本祐二教授
プレゼンテーター 共創推進事業本部長 土井一成

session-2

16:30～17:50

共創プロジェクトはどのように創られ、何処を目指すのか

共創フロント提案から生まれたプロジェクトの当事者が、企業・行政それぞれの立場で何を目標しているのか、また、どのような課題認識を持ちながら共創プロジェクトを進めているのかを語ります。

事例紹介 & パネルディスカッション

- ① 地域のNPOを主体として取り組む、楽天市場のEコマースによる地域作業所産品のブランド化
- ② 京浜臨海部活性化を目指す官民対話の過程から生まれた、JFEエンジニアリングによる障害者就労支援の取り組み
- ③ ローソンとの包括提携に基づく直営店舗へのAEDの設置と従業員向けの講習の実施
- ④ 公共へのクリーンモビリティ導入チャレンジ
セグウェイジャパンと共創が出会って起きたこと

コーディネーター 共創推進事業本部担当部長 小林賢次郎
事例紹介 共創推進事業本部担当係長 杉山昇太

パネリスト(予定)

楽天株式会社	執行役員 楽天市場事業副事業長	高橋理人氏
NPO法人I Loveつづき		事務局長 岩室晶子氏
JFEエンジニアリング株式会社	経営企画部長	関口真澄氏
株式会社ローソン	関東ローソン支社関東FCサポート	鈴木直子氏
セグウェイジャパン株式会社	取締役マーケティング部部長	秋元大氏
健康福祉局	障害企画課就労支援係長	國分忠博
共創推進事業本部	シニアプロジェクトマネージャー	嶋根直登
	同担当係長	石井健一郎
	同担当係長	野上和義

会場との質疑応答

参加者の皆さまへのメッセージ 横浜市副市長 野田由美子

交流・意見交換会 同日・同会場 18:00～19:30

参加費:2,000円、飲食付 募集人数70名(先着順)

* フォーラム申込時にお申し込みください。会費は当日受付時にお納めください。

次回予告

テーマ 「共創ビジネスで、新たなCSRに乗りだそう」

日程 10月21日(水) 15:00~18:00(予定)

会場 横浜市開港記念会館

【共創フォーラム】とは

行政と民間の議論と交流の場を創出することで

- ① 異なる視点 異なる価値観から革新的なアイデアを生みだし
- ② 相互理解の上で社会的課題を議論し 解決策を導き出すことを目指し、横浜市共創推進事業本部が仕掛けている試みです。現在約200名の民間企業、NPO、大学関係者、公益団体、そして横浜市職員が参加し、昨年度は6回のフォーラムを開催し、テーマ別にディスカッションを重ねてきました。

【共創推進事業本部】とは

行政だけでは対応が難しい社会的課題が増加している中、公共においても行政と民間がそれぞれの資源やノウハウを有効に活用した事業展開やサービス提供が求められています。

そこで、行政と民間が「共に創る(共創)」という考え方にに基づき、互いの知恵を出し合っって新たな事業機会を創り、それを市内企業を含めた横浜経済の活性化と、公共におけるより効率的で質の高いサービス提供につなげていくことを目的に設置されたのが、共創推進事業本部です。

《平成21年度運営方針》

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kyoso/houshin/h21.pdf>

【共創フロント】オープンしています！

共創推進事業本部では、行政と民間が互いに対話を進め、新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むために、民間企業・法人からの相談・提案を受け付ける窓口(通称:共創フロント)を設置しています。

民間企業・法人、事業者の皆さまからの積極的なご相談・ご提案をお待ちしております！

例えば

- ・横浜市が持つ広告等媒体の活用
- ・公共サービスにおける民間のノウハウや資金の活用
- ・遊休公有財産の民間による活用
- ・横浜市とのタイアップ
- ・その他公民連携に関する事項 など

↓ URLの申込フォームから、相談・提案についてのお申込をお願いします。

<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/kyoso/front/front.html>

【共創フォーラムSNS】参加者募集

共創フォーラム参加者でご希望の方を、インターネット上でディスカッションや情報交換ができる会員制の「共創フォーラムSNS(ソーシャルネットワークワーキングサイト)」に招待します。

(現在100名の企業・団体の方、市職員が参加)

<http://sns.kyoso-yokohama.jp/>

入会・ログインには、事務局からの招待メールが必要です。

事務局に【SNS参加希望】と、Eメールでお申し込みください。